

東海林太郎顕彰碑建立除幕式

日 時:令和3年3月27日(土)午前10時～11時

会 場:秋田市文化創造館敷地内

主 催:東海林太郎直立不動像建立委員会 東海林太郎顕彰会

東海林太郎顕彰碑建立除幕式次第

- 1 着席
- 2 開会の言葉
- 3 修 祓
- 4 招神の儀
- 5 献 饌
- 6 祝詞奉上
- 7 散麻散米
- 8 序幕の儀
- 9 玉串奉奠
- 10 送 神
- 11 閉式の言葉
- 12 歌斉唱

赤城の子守唄
母に捧ぐる歌
国境の町

東海林太郎略歴

明治31年12月11日 : 秋田市千秋矢留町(旧台所町) 生れ
大正5年 : 秋田中学卒業(現秋田高校)
大正12年 : 早稲田大学卒業
大正12年 : 南満洲鉄道入社
昭和5年 : 南満洲鉄道退社
昭和6年 : 早大正門前に北京料理店開業
昭和8年 : 時事新報主催第2回音楽コンクール入賞
昭和9年 : 赤城の子守唄で歌謡界にデビュー
昭和38年2月 : 日本歌手協会初代会長就任
昭和40年12月 : 第7回日本レコード大賞特別賞受賞
昭和44年4月 : 勲四等旭日小受章授与される。
昭和47年4月 : 第23回NHK放送文化賞受賞
昭和47年10月4日 午前8時50分逝去 享年73歳
正五位勲三等端宝賞追叙される
日本歌謡大賞放送音楽特別賞受賞
昭和47年11月

<赤城の子守歌>

- 1 泣くなよしよし ねんねしな
山の鴉(からす)が啼いたとて
泣いちゃいけない ねんねしな
泣けば鴉が またさわぐ
- 2 坊や男児(おとこ)だ ねんねしな
親がないとて 泣くものか
お月さまさえ ただひとり
泣かずにいるから ねんねしな
- 3 にっこり笑って ねんねしな
山の土産に 何をやる
どうせやくざな 犬張子
貰ってやるから ねんねしな

<母に捧ぐる歌>

- 1 おばこ唄うて 寝かされた
ふるさと恋し 母恋し
雪の夜更けの 子守歌
おくになまりが なつかしや
- 2 胸もさけよと 聲かぎり
われは唄はん たからかに
唄うことこそ わがつとめ
我望みなり わが命

<国境の町>

1 櫓の鈴さえ 寂しく響く
雪の曠野よ 町の灯よ
一つ山越しゃ 他国の星が
凍りつくよな 国境

2 故郷はなれて はるばる千里
なんで想いが 届こうぞ
遠きあの雲 つくづく眺め
男泣きする 宵もある

3 行方知らない さすらい暮らし
空も灰色 また吹雪
想いばかりが ただただ燃えて
君と逢うのは いつの日ぞ